

とねやま

編集・発行
大阪府立刀根山支援学校
本校教育部・訪問教育部
☎06-6853-0200
精神医療センター分教室
☎072-847-6951
阪大病院分教室
☎06-6876-5229
関西医大総合医療センター分教室
☎06-6995-5215
関西医大附属病院分教室
☎072-845-7033
<http://www.osaka-c.ed.jp/toneyama-y/>

「着任しました。」

校長 栗山 和幸

4月1日、桜の花が咲き誇る刀根山病院の坂を歩いて出勤してから3か月が過ぎました。ようやく、刀根山支援学校の先生になることができたような気がします。最近、校長室に本校教育部の生徒が登下校の途中に寄ってくれるようになりました。そして、「おはようございます」の挨拶を交わしたり、「今日、お昼ごはんは何食べたの？」などとお話をするようになりました。生徒諸君とのお話を通して刀根山支援学校の優しく柔らかな雰囲気を感じているところです。

さて、今年度の本校の基本的な教育目標をお示しいたします。本校が今以上に魅力ある学校となりますように教職員が一丸となって、努めてまいります。どうぞ、ご理解とご協力をお願いします。

1.一人ひとりの状況に応じた学力等の向上

入院治療による「学習空白」等を補完するだけでなく、積極的な学習の機会と捉える

2.「安心で安全」な学校づくり

子どもたちや保護者の思いに寄り添い、安心して学ぶ環境づくりに努めるとともに、地元校との連携に努める

3.他者との関係づくりを通して夢を目標に変える

本校の教育活動を通して自身の病気の理解と自己の理解を進めるとともに、自己実現に向けての「将来」を考える

刀根山支援学校は、児童生徒が自身の心身のコンディションを把握する力、目標の実現に向けて人生を切り拓く力、病気と向き合う気力を育むとともに、自己を大切にし他者を大切にす心の育成に努めます。



(若い頃の私)

教頭 堀 茂樹

昨年は主に分教室を担当させていただきました。今年度は本校教育部、訪問教育部の担当です。よろしく申し上げます。毎日、本校教育部の生徒のみなさんが登校時、下校時に元気よく挨拶してくれています。生徒のみなさんからいつも元気をもらっています。5月18日～20日、本校教育部の修学旅行（東京方面）があり、みんなで元気よく3日間活動しました。修学旅行の計画・実施にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

教頭 山口 守

昨年度は本校、訪問を担当しましたが、今年度は分教室担当です。どうぞよろしく申し上げます。先日は関西医大病院分教室のお楽しみ会と阪大病院分教室の大運動会に出席しました。子どもたちがとても生き生きとした表情で楽しんでいて、保護者の方々もその姿を温かく見守っておられました。分教室での行事がいかに大切かを改めて教えられました。子どもたちが少しでも笑顔でいられるような手助けができれば、と考えています。

PTA 役員名簿 今年度のPTA 役員は次のとおりです。

会長 ○○○○ (本校教育部保護者) 副会長 ○○○○ (本校教育部保護者)

会計監査 ○○○○ (本校教育部保護者) ○○○○ (本校教育部保護者)

会計 ○○○○ (事務長) ○○○○ (訪問教育部教職員) 書記 ○○○○ (本校教育部教職員)

各部・分教室の担当教員は以下のとおりです。

本校教育部：○○○○ 訪問教育部：○○○○ 阪大分教室：○○○○ 精神医療分教室：○○○○

関西医大総合医療センター（滝井）：○○○○ 関西医大付属病院（枚方）：○○○○

日頃、なかなか学校全体としては活動しにくい本校のPTAですが、年2回（夏号・冬号）の俳句集の発行なども含めて、刀根山支援学校の一員として楽しく活動していきたいと考えています。よろしく申し上げます。

本校教育部

☆春の親子校外行事☆ 4月28日(木)

本校教育部の生徒10名と保護者8名、教職員15名で昨年オープンしたEXPOCITY内ニフレルに行ってきた。まずは、ショッピングパーク内のフードコートで、ラーメン、たこ焼き、オムライス、タイ料理など、それぞれ思い思いのメニューを堪能しました。ニフレルでは、幻想的な姿のクラゲ、勇壮なホワイトタイガー、かわいいカバの寝顔など、ゆっくりとたくさんの動物の姿を間近で見ることができました。雨の中の移動は大変でしたが、生徒達は疲れを見せることなく、それぞれの春の一日を楽しみました。



☆修学旅行☆ 5月18日から20日

2泊3日で東京に行きました。今年は高校2・3年生と中学3年生の4名の参加です。初日はお台場にあるトヨタの展示場・メガウェブを楽しみました。それぞれお目当ての車に乗り込み記念写真を撮りました。2日目はディズニーシーです。迫力のあるショーやディズニーのキャラクターが活躍するアトラクションを満喫し、ホテルに戻っても夢の世界に入り込んで抜け出せない生徒も。3日目は東京タワーを訪れました。帰りの新幹線でそれぞれ楽しかった旅行を振り返っていました。



☆パソコン交流会☆ 6月4日(土)

『オリジナルゲームで遊ぼう!』をテーマに本校在校生と卒業生が情報の授業で制作したパソコンゲームで、地域の中学生と本校在校生、卒業生が対戦を楽しみました。在校生が制作した〈くまちゃんRUN!〉や卒業生が制作した〈タンカー〉、〈ゴルドスロット〉など、参加者は思い思いにゲームを攻略して楽しんでいました。初めは緊張していた参加者も時間が経つにつれて、ゲーム対戦を楽しみ、本校生徒との交流を深めました。



訪問教育部

■■■愛仁会リハビリテーション病院■■■



4月11日(月)午後から、愛仁会リハビリテーション病院で、中学部1年生の「入学を祝う会」が行われました。新入生はきれいなコーサージュをつけて、色とりどりの花や、病棟スタッフに作っていただいた飾りにか

こまれて、会が始まりました。

在校生からの歌のプレゼントやくす玉わりで盛り上がり、本人もうれしそうな表情を見せていました。お祝いのことばをくださった病院スタッフのみなさん、どうもありがとうございました。

■■■森之宮病院■■■

4月8日(金)午後から、森之宮病院で「始業式」が行われました。友たちや先生と久しぶりに会った人、今日初めて会った人といういろいろですが、教頭先生の話を聞き、校歌などを歌って互いの進級を喜びあいました。この日からさっそく学習が始まっています。



■■■松下記念病院■■■

守口市にある松下記念病院でも、小・中学生を対象に訪問教育を実施しています。個室に入院している場合は病室で、大部屋の場合は面談室等をお借りするなどして学習します。入院する前に通っていた小学校や中学校の学習進度に合わせて、体調に合わせた学習となります。



◆◆◆校外学習◆◆◆

心地よい春の日差しの中、「星のブランコ」がある「ほしだ園地」へ小学部6名・中学部2名の計8名で校外学習に出かけました。

この日は天候にも恵まれ和気藹々とした雰囲気の中、朝のチェックと行程確認等を済ませて出発しました。

行きの電車では「切符をきちんと買えるかな？」「電車に酔わずに乗れるかな？」など、不安に思っている子どももいましたが、全員きちんと切符を買うことができ、誰も電車で酔うことなく元気に過ごすことができました。



私市駅に着き、いよいよ登山開始です。途中休憩をいくつか挟みながら、木製の小路、ピトンの小屋のクライミングウォールと次々と変わる景色を見ながら元気に歩いて行きました。校外学習のとき、いつもみんなについていけない子ども達も「今日がんばる」と言って遅れながらもついていくことができました。登っていくにつれて言葉少なげになりましたが最初の目的地である「星のブランコ」まで無事到着することができました。「星のブランコ」では高さ50mの絶景を見ながら、向かいの山に向かって「やっほー」とやまびこの返答を楽しみました。やまびこの後は、広場でお昼ご飯をたべました。自然の空気をすいながら、みんなで食べるお弁当はきっとおいしかったことと思います。

下山の途中、小学生の希望で子ども用のクライミングウォールに挑戦しました。全員初めての経験でしたが、上手に渡りきることができました。その後、帰途に着きました。帰り道でも山での出来事を話しながら下山しました。とても充実した校外学習でした。



◆◆◆修学旅行◆◆◆

青葉の香りの心地よい風がふく中、小学部3名・中学部1名で、6月に修学旅行で京都へ行ってきました。平等院・太秦映画村・染色体験・和菓子作りなど盛りだくさんでした。夜のレクリエーションでは、トランプゲームをしたり、カメラで写真を撮りあったりと大盛り上がり。おいしいご飯をたくさん食べ、友だちと楽しくすごした二日間でした。良い思い出になったかな？



◎防犯教室

5月12日(木)

警察官の方に来ていただき、危険な目に遭いそうになった際の対処法を教えてくださいました。知らない人について行かない、独りで行動しない、大きな声で助けを求めると、自分の身を安全に守るために大切なことを



教えてくださいました。

◎トーンチャイム演奏会

5月20日(金)

ボランティアの方に来ていただき、小学部の教室にてトーンチャイムの演奏会が行われました。子どもたちも音楽の授業を使って「南の島のハメハメハ」を練習し、ボランティアの方々と一緒に演奏をしました。



◎大運動会

6月17日(金)

病棟6階テイルームで小中学部の子どもたちによる大運動会が行われました。「シックスポップコーン」チームと「ポップドラゴンズ」チームとに分かれて競技を楽しみま



した。午前中は「はこんではこんで」、「レインボー玉入れ」、「ストラックアウト」、「渋柿ポイ！」の4種目を行いました。「はこんではこんで」はボールや風船を湯桶でとなりの人へ送っていくゲームで、スピードと慎重さが問われます。「渋柿ポイ！」は渋い柿を相手の陣地へポイポイ投げ入れるゲームです。レインボー玉入れには校長先生や教頭先生も参加されました。



午後は「ザ・カーリング」と「パターゴルフ」、そしてサプライズ競技である「ペーパー綱引き」をしました。

今年度は在籍児童生徒が全員登校でき大運動会に参加することができました。対戦相手チームにも拍手を送って、とても楽しい雰囲気の大運動会となりました。



お引越ししました

関西医科大学付属滝井病院は5月6日に関西医科大学総合医療センターに生まれ変わりました。それに伴い、病棟も教室も第一弾目のお引越しをしました。

新しい病棟は本館5階。新教室はその病棟内にあります。以前の教室の2倍の広さでのびのびと学習しています。閉鎖された病棟外教室から、大きなテレビを運び込みました。大きな画面で、学習しやすくなりました。これからも、頑張りましょうね！



中国の勉強したよ！

5月17日(火)と31日(火)の2回にわたり、中国の東北師範大学の黄先生と、北大病院の院内学級と、総合医療センター分教室をインターネットでつないで行う交流学习に参加しました。あいにく小学生は参加できず、中学生のみの参加となりました。内容は中国についての学びでした。

自分の名前を中国語読みではどう発音するか？なかなか恥ずかしくて発音できない中学生のみんなは、北大の小学生の発音に拍手するばかりでした。黄先生からは、中国の小学生の生活を聞いて、あまりの勉強時間の多さに驚くばかり。次に、英語が早くから科目に入っていることにまた驚かされました。「日本で良かった」とつぶやく女子生徒もいました。目が疲れた時に行うという顔のマッサージを、説明を聞きながら行い、すっきり！

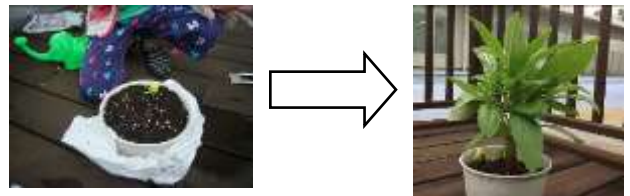
第2回では、祭り食べ物についてのお話を聞きました。いろんなフルーツの飴に加えて長芋の飴があることにびっくり。どんな味がするのでしょうか。中国に行ったら確かめないとはいけません。最後は中国語のクイズ。同じ漢字を使っても、日本語とは違う意味を持つことにまたまたびっくり。「日本から中国へ行く前に、使いたい単語が中国語ではどんな意味なのかをよく調べていかないと誤解されそう…」とは、中学生男子の感想でした。



ホウセンカの種をまきました。

3年生がホウセンカの種をまきました。土を触りたいけれど我慢して、種をまきました。きれいな花が咲くようにこれから毎日水やりを頑張ります。

4月に植えたホウセンカは、とても大きく育っています。早くきれいな花が咲いてほしいです。



社会の勉強です。

地元校で学習している校区めぐりの代わりに院



内学級のある関西医科大学附属病院の周りを13階から見ました。いい天气で暑く、汗を拭きながら京阪電車を探しました。大学や市役所などいろいろな施設を発見しました。

設を発見しました。



ちょっと？早い夏まつり

外は雨、でも暑いからもう夏です。夏といえばやっぱりお祭りです。

お祭りといえば、たこ焼きやリンゴ飴などいろいろな意見が出てきましたが、みんなで相談して、1円玉落とし・魚釣り・射的・ブラックボックス・わたがしの5つをして遊ぶことに

決めました。

魚の絵を描いたり、射的の的やわりばし鉄砲を作ったり、みんなで準備もしました。そして待ちに待った夏まつり本番の日は、隣の友だちと作戦を立てたり、応援しあったりして仲良く楽しみました。そして最後はお楽しみのわたがしです。自分で作るのみんな初めてだったので、上手に作っておいしく食べました。

